



蓮田・白岡地方ユネスコ協会

きずな

NEWSLETTER

蓮田・白岡地方ユネスコ協会

発行人: 会長 田村 勝彦

VOL. 34
31, 1, 2026

◆ 目 次 ◆

世代交流カフェ 開催報告	・・・ 1	「U-スイミー」活動報告	・・・ 3
会長コラム	・・・ 1	「学校支援協力活動」報告	・・・ 3
文化遺産めぐり	・・・ 2	会員紹介	・・・ 4
「関東プロ大会」「全国大会」報告	・・・ 2	お知らせ・今後の予定	・・・ 4

世代交流カフェ開催報告

～ 80年前のお話聞かせて～ 平和のバトンをつないでいこう

2025年9月13日(土) 蓮田市環境学習館

小学生から95歳までの68名(こども・若者24名、大人44名)が参加した。カフェのスタートはU-スイミーのスタッフが、戦争を体験した方々に当時の「衣・食・住」「教育」について取材。報告発表をパワーポイントでテーマ別に行った。戦前～戦後の話は最年長95歳の土橋さん、山口会員から紹介の80代飯田さんは戦後の生活や教育について、戦前～戦中の生活はさいたま市在住の93歳田村さん。当時の蓮田の様子についても複数の方に取材協力をいただいた。また、食生活改善推進員有志の方とU-スイミーのおにぎり隊が、おにぎりとすいとんを当時の味に近いものを再現し、現代バージョンと2種類を参加者にふるまい、当時の暮らしをカフェスタイルで体験した。子ども文化研究家 中平順子さん達による紙芝居。中平さんの語りに、会場は優しい静寂に包まれ、童心に戻ったようなあたたかな時間をすごした。貴重な「国策紙芝居」の紹介と、戦争の記憶を語り継ぐ活動と紙芝居を通じて人と人が触れ合い、心を通わせることの尊さを改めて実感する貴重なひとときとなった。みんなで考えるグループワーク「平和な未来について」では、世代を超え互いの意見を尊重し合い、熱心に話し合う姿がどのグループにもみられたことが印象的だった。今回の参加者の中からは、戦争を繰り返してはいけないというメッセージを心に刻んで平和の尊さを自分なりに学んでいきたいという感想もあった。



子ども文化研究家 U-スイミーによる戦争体験者への取材の様子
UH 中平順子さん



報告発表

Instagram

【埼玉】蓮田・白岡地方ユネスコ協会
(戦後80年イベント関連記事P. 3)

健闘するU-スイミーと次世代継承を考える

U-Smile事業「U-スイミー」2年目の成果と今後の展望

会長 田村 勝彦

謹賀新年 本年もどうぞよろしくお願いいたします。

U-Smile事業は2年目を迎え、「平和の希求」「教育」に加え「こども・若者の居場所づくり」を主軸に活動しました。当初はマンパワー不足や活動の特異性から困難を極めましたが、粘り強い地域活動により認知度を高め、行政センターでの活動も定着しはじめました。U-スイミー登録人数は60名を超え、会員の中からはカンボジア・スタディーツアーへの参加者や能登復興ボランティア参加者が出るなど、活動の意欲を持つ若者が大きな成果を上げています。若き会員が増えており、将来への明るい兆しを感じています。

しかし、まだこの草の根活動は、特に行政・学校との個人情報保護の壁が、居場所を必要とする子どもたちの情報収集を困難にしています。また、持続可能な運営のためには、実働できる会員の確保が急務です。この状況を打開するため、今後も蓮田市との「包括連携協定」を梃子に、行政や地域への理解とユネスコ活動に関心の高い企業様との連携を深め、活動リソースの強化を図ってまいりたいと考えております。当会の趣旨にご賛同いただける企業の皆様には、ぜひ賛助会員としての参画、ならびにご支援を賜りますようお願い申し上げます。そして、運営体制をふくめ、次世代に活動を確実に継承できるよう 真摯に検討を進めてまいります。皆様の一層のご指導とご協力をお願い申し上げます。



第23回 文化遺産めぐり 水郷佐原の街 を訪ねて

香取神宮
伊能忠敬記念館

2025年12月6日(土)

ツアー行程

蓮田駅 香取神宮・佐原散策・伊能忠敬記念館 蓮田駅

当日は天気恵まれ、本ツアーには46名が参加した。

行きのバスの中では田中理事から神社のミニ知識を学んだあと、下総の一宮「香取神宮」を参拝した。昼食は佐原の忠敬茶屋、その後佐原を散策した。

江戸時代後期に活躍した測量家 伊能忠敬記念館では測量器具などの展示物の見学や学芸員さんから全国の海岸線や主要道路を測量し正確な地図「大日本沿海輿全図」を作成した忠敬の生涯を解説していただいた。帰りのバスではビンゴ大会で盛り上がった。次回のご参加もお待ちしております。



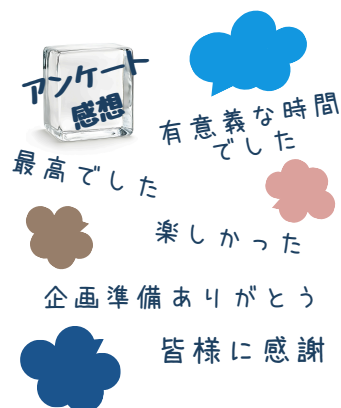
香取神宮



佐原の散策



ご参加いただいた皆さま(46名)



第53回関東ブロックユネスコ活動 研究会in 埼玉 参加報告

「次代につなげよう平和の心」
-戦後80年、いまだできることは-

2025年9月27日(土)
埼玉県深谷市民文化会館
主催:埼玉県ユネスコ連絡協議会
主管:寄居地方ユネスコ協会
深谷地方ユネスコ協会

当協会参加者9名



渋沢栄一翁の精神・心を受け継ぐ教育を軸にし「ふるさと教育」を目指している活動発表は地域の深いつながりを感じるものだった。深谷の教育が自然にふるさとを大事にする心を育てていることを知る発表だった。

他ユネスコ協会の活動を知ることができ、交流会ではたくさんの方とお話し、学びの多い機会になりました。

(ユース会員:森岡美帆)

深谷のゆるキャラふっかちゃん

渋沢栄一も青年期に舞っていた
血洗島獅子舞
(約450年の歴史をもつ伝統芸能)



第81回日本ユネスコ運動全国大会 in 金沢 参加報告

「日常 能登半島の創造的復興を目指して」

2025年10月18日(土)
石川県立音楽堂邦楽ホール

主催 (公社)日本ユネスコ協会連盟
石川県ユネスコ協会主管

後援 外務省、文部科学省、
日本ユネスコ国内委員会、
石川県教育委員会 他

当協会参加者3名



全国から300名余が参加した。

開会前にはジュニアジャズや子どもたちによる伝統芸能 能・狂言のセレモニーが披露された。若い世代のボランティアが多く、元気をもらった。

パネルディスカッションでは、能登半島の震災後の現状と復興への課題が語られ、輪島塗経営者の復興への決意や、志賀町長の「かえる志賀町」の取り組みのキーワード『人が帰る・元に帰る・まちをかえる』と語っていることが印象的であった。

前日に能登半島に行き、輪島、珠洲市の現状を見て受けた感情と被災地の厳しい現実を共有できた意義深い大会であった。

(参加者:田村・飯島・江原)

となりのトトロの歌手
井上あずみ・ゆーゆ
うたとお話のコンサート



U-スイミー活動

様々なスタイルでU-スイミーメンバーが活動しています！

一緒に学び・体験

2025年8月5日(火)

第3回感動体験 平和のこころを繋ぐバスツアー
グリコピア・イースト (北本)工場見学
桶川飛行学校平和祈念館見学
参加者 26名 (ユーススタッフ 3名)



桶川飛行学校でのお話



グリコピアにて

2025年9月13日(土)

世代交流カフェ = 戦後80年平和の学び =
戦争体験者への取材報告発表
紙芝居で平和を…
蓮田市環境学習館
参加者 68名
(ユーススタッフ 11名)
80〜95歳 3名の方への取材…3チーム



事前取材



参加者の皆様



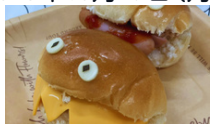
グループワーク

2025年9月27日(土)

関東ブロックユネスコ活動研究会IN 埼玉【深谷】
当協会参加者 9名(ユーススタッフ 2名)

2025年10月27日(月)

ハロウィンパーティ「世界のハロウィン」
ときどきクッキング「モンスターバーガー」
工作「ハロウィンオリジナルバッグ」
蓮田市西口行政センター
参加者 20名 (ユーススタッフ 8名)



モンスターバーガー



参加・受付手伝い
受付のお手伝い



参加者と世界のハロウィンの学習発表

2025年12月6日(土)

文化遺産めぐり 「香取神宮・伊能忠敬記念館」
参加者 46名 (ユーススタッフ 3名)

2025年12月22日(月)

クリスマスパーティ
蓮田市西口行政センター
参加者 45名
(ユーススタッフ 8名)



「まんぼう」のみなさん



キャンドルペイント

下見
しおりづくり

企画

そのほか活動内容
Reborn作戦・学習支援・
交流・クッキング・Instagramや
チラシ作り・他団体とのコラボ
イベント参加(演劇) など

学校支援協力活動

令和7年度 下半期 学校支援協力活動報告

— 世界を知り、自分を考え、未来を創る —

今年度、市内の小中学校にて開催した講演会の記録です。

講師の体験を通じ、子どもたちが広い視野で未来を考える貴重な機会となりました。

実施日	学校名	講師	テーマ	各校の感想のまとめ
9/9(火)	黒浜南小	JICA青年海外協力隊08 花田 愛(理事)	国際理解 ニカラグアの生活から…	実体験を通じ異国の暮らしを知ってもらい、児童自らの生活を考える機会になった。(学校感想)
10/21(火)	蓮田中央小 ユネスコ スクール	JICA青年海外協力隊08 梶 恵一(会員)	国際理解 世界のために私たちにできること～	今を大切にすること、今あるものを大切に今の生活のありがたさを感じた児童が多かった。そこから自分ができることから取り組んでいきたいという考えに結び付いた児童も多かった。(学校感想)
11/10(月)	黒浜南小	花田 愛(理事) 参加: 田村・江原	20年後の 蓮田をプロデュース	20年後の蓮田を創造、未来の街の姿を児童がプロデュースし発表
11/13(木)	蓮田中 ユネスコ スクール	JICA青年海外協力隊08 山口 智己氏	キャリア教育 ふれあい講演会(スーダン)	「時間は有限」「予定通りいかないことも起きる」など、実体験に基づく教訓が響いた。大人になっても勉強する姿を見習いたい。(生徒の感想・他多数あり)
11/28(金)	黒浜西中	JICAシニア海外協力隊08 青柳 豊氏	人権集会(ベトナム)	整理整頓など日ごろの生活を振り返る機会を得たようだ。ベトナムの生活、文化の違いが日本と大きく違うことに興味を持つ生徒がいた。(学校感想) 異文化理解=人権理解
12/4(木)	黒浜中	JICA青年海外協力隊08 梶 恵一(会員)	人権集会 異文化共生と社会参加～みんなちがってそれがいい～(スリランカ)	みんなと同じでなくてもいい「裕福とはお金やモノではない心の豊かさ」「幸せは自身の心の中にある」「幸せは築くもの?→気付くもの」など気づかされることが多いよいお話を聞かせてもらった。(学校感想)

ご賛助のおねがい



持続可能な社会の実現に向け、企業様とのパートナーシップ推進は不可欠です。

活動の基盤をより強固なものにするため、企業の皆様や個人の方の温かいご賛助をお願いしております。共に地域の文化や平和を支える歩みにご賛同いただければ幸いです。

賛助金は、U-スイミーの居場所で次世代を担うこども・若者たちのイベントの運営活動資金として、大切に活用させていただきます。

【法人賛助会員・個人賛助会員】とは

1. 法人賛助・個人賛助会員 年会費 10,000円(年間)/10人以上
2. 賛助会費の使途 … こども・若者の居場所、国際理解教育、文化・自然遺産保全活動などの実施費用に充当いたします。
3. 賛助会員特典 … 当協会の会報・ホームページなどへの社名、名前掲載、主催事業へのご案内他

お申込み方法・詳細は事務局までお気軽にお問い合わせください。

賛助会員の皆様(敬称略)



【個人】

石崎光夫・赤木祐子・金澤苑子・斎藤晴美・加藤 繁・中島のぶ子・仲田俊一・西山通夫・山口京子・安田修一・山上 修・柳井啓子・山田慎太郎・山口香織・高野哲郎・山根雅利・服部克彦・三ツ林裕己・田村勝彦・中野和信・斎藤隆宗・飯島 剛

【団体・法人】

日本料理 彩々楽・(株)登志工務店・(株)ラマ・ツアーズ・扇産業(株)アスク・サンシンエンジニアリング(株)



会員募集中

当協会の活動に興味がある方、ボランティア活動に関心がある方、私たちと一緒に活動しませんか？詳細は事務局に「会員希望」とお伝えください。

会員になると、講演会・バスツアー、U-スイミー活動をご案内します。

事務局 (070-2211-0329) 活動詳細は下記のQRコードで見れます。

また、書き損じはがきの収集活動やU-スイミーの活動支援(活動支援募金等)にご協力いただける方や団体様はぜひご協力をお願いします。

書き損じはがきの回収ボックス設置場所・・・

蓮田駅前郵便局・蓮田西新宿郵便局・白岡郵便局・蓮田図書館



活動の様子はこちら



▲ HP

<http://www.hasuda-shiraoka.jp.org>



▲ LINE



▲ Instagram



▲ U-スイミー登録フォーム

発行人 蓮田・白岡地方ユネスコ協会 会長 田村勝彦

事務局 070-2211-0329

E-mail: hs.unesco2008@gmail.com

今後の予定

★U-スイミー 感動体験

3月22日(日)

東京海洋大学マリンスイスイミュージアム

テーマ: みんなで学ぼう!

海の声を手のひらで

～海とつながるワークショップ～

共催: 東京海洋大学 Igoan1ネスクラブ

協力: ㈱サヴァン

★蓮田・白岡地方ユネスコ協会

定時総会(5月予定)

会員の方は是非ご参加ください

NEW Member Introduction

山田 慎太郎

やまだ しんたろう

蓮田市

蓮田市議会副議長



蓮田市議会議員の山田です。前市長からご紹介いただき、当会の理念と活動に深く賛同し入会いたしました。蓮田市内外の子もたちが笑顔で、明るい未来を描ける地域づくりを進めていくために、皆さまと力を合わせて活動していきたいと考えております。



青野 光羽

あおの みう

さいたま市

岩槻区

大学生

子どもと関わるのが大好きで、その笑顔や成長に寄り添いたいと思い参加を決めました。また、地域の方々とのつながりを広げたいという思いもあります。活動を通して、年齢や性別に関係なく、誰もが安心して楽しく過ごせる居場所づくりに貢献したいです。ここでの経験一つひとつを大切に、自分の人生において財産となる学びを多く得ていきたいと考えています。

編集委員会

向山 裕規・内山 尚子・内山 小桜